

蒲郡シティセールスプロジェクト シンポジウム

Takeshima!

私たちの出来る蒲郡シティセールス
～これからの蒲郡を語ろう～

とき

2017年 8月22日(火) 19:00-21:00
(受付18:30-)

場所

蒲郡商工会議所 コンベンションホールA

会費

無料 (先着150名 ※事前申し込み優先)



申し込みはこちら

パネルディスカッション

「私たちの出来る蒲郡シティセールス ～これからの蒲郡を語ろう～」

司会



安藤竜二氏
株式会社DDR代表取締役

パネラー



山本大輔氏
食べる水族館
プロジェクトリーダー

パネラー



丸崎敏夫氏
三谷水産高等学校 校長

パネラー



小林龍二氏
竹島水族館 館長

パネラー



鈴木寿明氏
蒲郡シティセールス
プロジェクトリーダー

レクリエーション



- ・ご当地ユニットGAMAこりん' S 出演
- ・ガマゴリうどん振る舞い(無料)※数に限り有
- ・シティセールス〇×クイズ(景品あり)

【蒲郡シティセールスプロジェクト】とは・・・

シティセールスは、街が持つ様々な魅力を対外的により効果的にアピールし、多くの観光客の訪問や特産品の販売促進、また、新たな交流人口や定住者の増加、企業立地の促進等を目的に街の活性化を図る活動です。

蒲郡シティセールスプロジェクトでは、蒲郡市民の方とより密接に協力しながら、2012年からシティセールスをスタート。特産品開発分野においては、「ガマゴリうどん」関連商品をはじめ、愛知県が日本一の水揚げ量を誇るアサリを活用したブランド「ガマゴリ麺'sくらむ」構想に従い、アサリグルメの商品ラインナップの充実を図っています。また、地域の中小企業者らとの連携のもと、六次産業化による高付加価値商品の開発、展開を促進し、モノや街づくりを通じて、地域で活躍する人づくりにも力をいれています。情報発信分野においては、蒲郡ロケーションサービス「ガマロケ！」の組織力向上を図り、映画・ドラマをはじめとした映像作品を数多く誘致し、マスメディアを有効活用した地域情報発信に取り組んでいます。



「私たちの出来る蒲郡シティセールス ～これからの蒲郡を語ろう～」



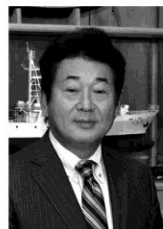
安藤 竜二氏
株式会社DDR代表取締役
叩き上げブランディング
プロデューサー

1971年、愛知県岡崎市生まれ。1993年、岡崎の老舗木材会社に入社。値段ではなくストーリーやこだわりといった価値で売る「叩き上げブランディング術」を創造。2004年には上海で中国初のデザインギャラリー「KOO」を立ち上げ話題に。月刊室内「次代をつくる50人」に選ばれる。独立後、フリープロデューサーとして東京で店舗プロデュースやブランド開発を手がけた後、故郷岡崎市に戻り、2006年10月11日に元気創造集団 株式会社DDRを設立。2007年1月、サムライ日本プロジェクトを立ち上げ、8月には経済産業省の地域中小企業サポーターに委嘱される。2011年には月刊ビジネスチャンス「日本を変える起業家100人」に選出。2009年～現在までに4冊の著書出版とDVDをリリース。また、2010年～2013年FM Aichiのラジオ番組「R-STYLE SHOP」のDJを務め、2014年より@FM (旧FM Aichi) の「GLOBAL R-VISION」にてDJを務めている。2014年より、大村秀章（愛知県知事）と共に「あいち観光戦略検討会議メンバー」を務め、また、大村知事・河村たかし（名古屋市長）と共に「なごやめし普及促進協議会アドバイザー」を務める。2015年度から岡崎市制100周年記念事業「赤い糸プロジェクト」のプロデュースを行うなど日々活動の幅を広げ、日本各地や中小企業の商品及び、プロジェクトをブランディングし世界に発信し続けている。



山本大輔氏
食べる水族館
プロジェクトリーダー

山本水産株専務取締役
1969年蒲郡市生まれ。日本大学農獣医学部（現生物資源科学部）卒業後、名古屋中央卸売市場内の大東魚類株式会社入社し5年後に山本水産株へ入社。蒲郡で水揚げされる魚を中心に魚類の製造販売を行っている。
まちじゅう食べる水族館プロジェクトリーダー、蒲郡市観光協会コンテンツ開発グループ長、農協観光愛知県支部長、JR指定店連盟東海支部監事。



丸崎敏夫氏
三谷水産高等学校 校長

昭和35年、豊橋市生まれ。
国立大学法人鹿児島大学水産学部卒業後、大分県公立学校教員を始め教員の経験を積み、平成23年度愛知県立三谷水産高等学校教頭、平成26年度に同学校長に就任。愛知県下では唯一の水産高等学校で、平成25年より産学官連携によるクローアワビの陸上試験養殖を始め、企業との連携により開発したカツオのジュレ状つくだ煮（愛知丸ごはん）は2年連続モンドセレクションで金賞を受賞。平成28年には、文部科学省スーパープロフェッショナルハイスクール（SPH）の指定校に選ばれる。



小林龍二氏
竹島水族館 館長

昭和56年、蒲郡大塚町生まれ。
蒲郡高校を経て、北里大学水産学部（現海洋生命科学部）魚病学専攻卒業後、帰郷し竹島水族館へ就職。漁師だった祖父の影響を受け、幼少の頃より水中生物に興味関心があり、保育園時の夢は既に水族館飼育員だった。平成26年、日本の水族館で最年少館長となり竹島水族館を改革。広報がまごおり「読む水族館」連載、専門学校浜松ルネサンスベッタアカデミー水族館展示学非常勤講師、著書「竹島水族館の本」（共著）。ジンベエザメより深海魚よりメダカ好き。



鈴木寿明氏
蒲郡シティセールス
プロジェクトリーダー

株新鈴木新聞舗 代表
2011年、蒲郡商工会議所と市職員との有志が「ガマゴリ・ネバーアイランド」という地域発信型映画の誘致を目的にプロジェクトチームを立ち上げる。映画の過程で生れた「ガマゴリうどん」をご当地うどんとして定着させる活動や映画・ロケ誘致を目的とした「ガマロケ！」で地域の魅力を発信することに取り組む。
2014年～日本のご当地うどんを集めた「全国ご当地うどんサミット」を蒲郡市内で3年間開催し、実行委員長を務める。